

# 日本医史学会会報

54号 (復刊)

平成30年10月30日

第120回日本医史学会総会を開催するにあたって .....	会-1
第119回日本医史学会学術大会に参加して .....	会-3
第119回日本医史学会学術大会 会員大会 .....	会-5
平成29年度関連医史学団体報告 .....	会-13
雑報 (寄贈本リスト) .....	会-21

## 第120回日本医史学会総会を開催するにあたって

総会会長 山内 一信

このたび第120回日本医史学会総会を名古屋の地で開催させていただくことになりました。一言ご挨拶申し上げます。名古屋開催は68回(S42)戸茆近太郎会長, 78回(S52)岡田博会長, 85回(S59)酒井恒会長, 96回(H7)日比野進会長に続いて5回目となります。私は日比野進先生が第96回大会を開催された時の準備委員長をしておりました。その時にも第24回日本医学会総会が飯島宗一会頭の下で開かれた時でありました。今回は第30回日本医学会総会2019中部が齋藤英彦会頭のもとで開かれ, その3週間後にこの120回日本医史学会総会開催となります。従いましてこの医学会総会のメインテーマであります「医学と医療の深化と広がり—健康長寿社会の実現をめざして—」と連携した形で今回の学会のテーマは「医史学の新たな展望—健康長寿社会を拓いた先哲から学ぶ—」としました。

主なプログラムを紹介いたします。坂井建雄理

事長はこのたび医学史に関する大著『図説 医学の歴史』を発刊されると聞きます。坂井建雄理事長には「医史学が解き明かしたこと, 物語ること」と題してその発刊に対する思いを述べていただきます。名古屋には2人の功労会員, 青木國雄先生と高橋昭先生がいらっしゃいます。お二人とも御健在です。高橋先生には特別講演「川原病(球脊髄性筋萎縮症)—名古屋における記載, 病態, 治療の研究史—」をお願いしております。青木先生には市民公開講座で「変わりゆく疾病像とその対応」と題して座長の労をとっていただきます。演者は八谷寛先生「肥満に関連する疾病の増加と対策」, 上田龍三先生「がん治療薬の開発の歩み」, 松尾恵太郎先生「遺伝子治療の研究動向」を予定しています。

またシンポジウムでは学会と同じテーマ「医史学の新たな展望—健康長寿社会を拓いた先哲から学ぶ—」と題しまして3人の偉大な先人, ジェン

ナー(演者渡部幹夫先生), 華岡青洲(演者土手健太郎先生), 北里柴三郎(演者都倉武之先生)に加え, 小生は伊藤圭介を取り上げ, 医史上の功績は何か, その生き方を通して何を伝え, 私たちは何を学び, どう考えていったら良いのかを討論したいと思っています。また日本の医学は韓国から大きな影響をうけたと考えられます。漢陽大学の申榮全教授から韓国医学の歴史を述べていただく予定です。展示では明治14年愛知病院長兼医学校長を勤めた後藤新平を取り上げ, 名古屋時代の足跡を明らかにしたいと思っています。

ここで少し名古屋の地を紹介させていただきます。名古屋は木曾川や長良川, 揖斐川の三川流域に広がる濃尾平野の中心に位置し, 戦国時代では織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康などの武将を輩出した土地柄であります。比較的豊かな自然の恵みを受けた土地柄であり, 江戸時代には徳川御三家の一つとして栄えた城下町でありました。江戸と京, 大坂を結ぶ中山道や東海道が近傍を通っていることからいろいろな情報を得る機会に恵まれていたとも考えられます。

こんな中, 医学では第六代藩主徳川継友に招かれた浅井東軒から始まる浅井医学館が中心となって漢方医学が発展し, 浅井凶南, 貞庵, 紫山など著名な医師が活躍し, 第七代國幹は告墓文で有名です。江戸末期の頃になりますと水谷豊文, 伊藤圭介などの本草学, 蘭学に熱心な学者が現れます。伊藤圭介は進取の気性が強く, 本草学や蘭学等を学ぶ中で, 何か物足りなさを感じていたと思います。そんな中シーボルトと出会う機会を見つけ, それを契機として長崎まで出向き, シーボルトとの共同研究に没頭します。帰名時, シーボルトからツェンベリー著『日本植物誌』(フロラ・

ヤポニカ)をもらいます。おそらくこの出会いは圭介にとっては今までの本草学でもややもやとしていたものがすっ飛んだ時であったと思います。そしてこの本で使われた科学的リンネ分類法こそ日本に知らせるべきものと思い、『泰西本草名疏』として訳述し自費出版いたします。圭介はこれだけに飽きたらず, 洋学発展, 種痘普及に尽力します。しかし尾張藩はもともと国学も盛んで, 国学派との対立が生じますが, それをうまく潜り抜け, 明治を迎えます。

そして明治4年には名古屋大学の前身とされる仮病院, 仮医学校の設立に尽力いたします。その後東京からの依頼により東京に居を移し, 理学博士, 男爵まで登り詰めました。

さて仮医学校・仮病院は幾多の変遷を経て, 昭和14年には第七番目の帝国大学へと発展いたします。この間ヨングハンス, ローレツらのお雇い外国人や後藤新平らも活躍いたします。戦後医学部は久野寧や勝沼精藏など文化勲章受賞者を輩出し, さらに最近では名古屋大学理学部から数名のノーベル賞受賞者が現れました。

圭介についてはシンポジウムで紹介したいと思いますが, この学術総会を通して, 医学の発展に先人たちがいかに努力して今の我々の社会を作ってきたのか, その中で医史学の貢献を明らかにしたいと思っています。

この医史学会総会のプログラム委員長には橋本明先生, 実行委員長には加藤憲先生, 運営委員には東海地区の会員の方にお入りいただき, 運営のお手伝いをお願いしております。ぜひたくさんの方にご参加いただき, 大いに盛り上げてくださいますようお願いいたします。

# 第119回日本医史学会学術大会に参加して

橋本 明

愛知県立大学

第119回日本医史学会学術大会は、園田真也先生を会長として、2018年6月2日・3日の日程で鹿児島市中心部の鹿児島県医師会館で開催された。僭越ながら私がこの学会の印象記を書くという話が浮上したのは、それから5ヶ月以上が経過してからだったので、記憶している限りの断片的な記述にならざるを得ない。さらに、せっかく鹿児島に来られたということで、これまで暖めていた諸事項を探索すべく、学会の合間を縫って鹿児島県立図書館を訪れたり、鹿児島ならではの史跡めぐり（「向田邦子居住跡地」なども印象深かった）をしたりで、断片的な記述がさらに断片的になっていることをあらかじめご了解いただきたい。

さて、社員総会に出席すべく6月1日の夕刻に鹿児島に入ったが、私の記憶はそれにつづく役員懇親会から鮮明になる。総会が行われた鹿児島その眼科より歩いて数分、鹿児島中央駅の前を通り過ぎて、「黒豚しゃぶ鍋」が名物という郷土料理の店が会場であった。今回の大会の会長である園田先生が、はやばやと前年10月の『日本医史学会会報』で予告されていた店と思われる。私は当地の料理には疎いが、独特のたれにつけて食べるしゃぶしゃぶと焼酎を堪能しながら、鹿児島にいることを実感した。

学術大会のプログラムに掲げられた「すんくじらからの視線」の「すんくじら」とは、「隅っこ」というくらいの意味らしい。つまり、この地が日本の周縁にあり、周縁から医学の歴史を見たときに何が明らかになるのか、というのが本学会のメインテーマなのである。ふたつの特別講演、高津孝先生の「島津重豪と薩摩・琉球の博物学」（6月2日）とヴォルフガング・ミヒェル先生の「辺境としての九州」（6月3日）は、まさに「すんくじ

ら」を強く意識されたものだろう。とはいえ、江戸や大坂は確かに近世日本の経済や文化の中心ではあったが、国際的な海洋貿易へと開かれた鹿児島をはじめとする九州は、決して「すんくじら」ではなかった。むしろこの地は、その地理的な立地条件を最大限に活用しながら、近代日本のインフラ整備につながる準備を着々とすすめる最前線に立っていたという解釈も可能である。時間的な都合で高津先生の特別講演しか聞けなかったが、島津重豪の博物学的関心は「すんくじら」に留まることなく、東アジア全体に向けられたグローバルな感覚に支えられたものだと思知らされた。

一般演題について少し触れておきたい。6月3日、私は第2会場（医師会館3Fホール1）に陣取っていたので、そこでの報告が中心となる。まず、梶谷光弘先生の「医学士千原春甫の徳島赴任と甲種徳島医学校の開校・廃校について」では、明治初期に各地に開校したものの多くは短命に終わった甲種医学校の一例として、甲種徳島医学校をとりあげている。東大医学部を卒業したあと徳島県に奉職した千原春甫の経歴に、この医学校の盛衰を重ね合わせるという手法は斬新に感じられた。また、殿崎正明先生の「日本医科大学の前身済生学舎を創設した長谷川泰の思想的系譜—良寛の反骨精神に学ぶ—」にも言及したい。近代日本の精神医療史を研究している私には、長谷川泰といえど東京府癲狂院の設計コンセプトにも深く関わった人物としてスルーはできない。彼の「反骨精神」が当時の精神医療政策にどのような影響を及ぼしていたのか（いないのか）、演者の先生のご研究に注目し続けたい。一方、山内一信先生の「『北越従軍銃創図録』について」は、戊辰戦争中の北越における銃創治療を記録した図録を詳細に検討した演題である。この図録は名古屋大学附属図書

館医学部分館に保管されており、英国公使医員ウィリスがクロロホルム麻酔を使用して手術を行った診療記録も含まれるという。さらに、別の資料だが、このウィリスと博物学者伊藤圭介との接点を示唆する記述があるとのことで、山内先生ご自身が会長をつとめられる次回大会開催地の名古屋の歴史も意識されたと思われる興味深いご発表だった。

最後は蛇足だが、大会会場には地元の物産を販売するコーナーが設けられていた。みやげ物を物色していると、焼酎の試飲を勧められた。私の演題発表の直前だったので躊躇したが、店の人の「景気づけにどうですか」という言葉に誘われて、一口。おかげで、滑らかな口調で発表ができたかどうか、本人にはよくわからない。

## 第119回日本医史学会学術大会 会員大会

平成30年6月2日(土)

鹿児島医師会館

去る平成30年6月1日(金)に社員総会が鹿児島そのだ眼科会議室で、2日(土)には会員大会が鹿児島医師会館で開催されました。下記の報告が承認され、協議事項について全ての議案が可決されました。

### I. 報告事項(平成30年3月31日現在)

#### 1. 平成29年度庶務報告

##### (1) 会員の動静

- ・ 入会者 39名
- ・ 退会者 53名

死亡会員4名

石原 清 (平成29年12月2日逝去)

高橋 文 (平成29年10月12日逝去)

小田 皓二 (平成29年6月9日逝去)

山之内 卯一 (平成30年2月3日逝去)

都合退会 49名

- ・ 現在会員数 750名
 

正会員	694名	(内 団体会員 19名, 海外会員 43名)
学生会員	31名	名誉会員 6名
功勞会員	17名	賛助会員 2名

##### (2) 受賞

平成29年6月10日	第29回矢数医史学賞	町 泉寿郎
平成29年6月10日	第23回富士川游学術奨励賞	逢見 憲一
平成29年	O-CHA パイオニア賞 文化・芸術大賞	岩間 眞知子
平成29年	医科器械史研究賞	柳川 鍊平
平成29年	The BASHAM MEDAL AWARDS 2017	酒井 シヅ

## 2. 平成 29 年度事業報告

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第 63 巻第 2・3・4 号, 第 64 巻第 1 号 発行	
第 118 回日本医史学会総会 会長 武田時昌		京都大学芝蘭会館 (京都府京都市)	2017 年 6 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 5, 10, 11 月 第 4 土曜日
日本医史学会 9 月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	2017 年 9 月 30 日 (土)
日本医史学会 12 月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	2017 年 12 月 16 日 (土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	2017 年 11 月 23 日 (木・祝)
医心方と京都の医学史展 2017	特別 協力	護王会館護王神社	2017 年 11 月 1 日 (水) ~ 3 日 (金・祝)
第 2 回高麗郡偉人伝 医学者 桑田衡平の生涯と業績	後援	高麗神社	2017 年 7 月 23 日 (日) ~ 30 日 (日)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	2017 年 9 月 9 日 (土)
第 27 回漢方治療研究会	後援	コラッセ福島 (福島県)	2017 年 10 月 1 日 (日)
講演会「ケンペル研究の新展開 —日本とドイツ—」	後援	慶應義塾大学三田校舎	2018 年 3 月 10 日 (土)

## 3. 第 30 回矢数医史学賞選考委員会報告

・ Wolfgang Michel-Zaitsu 著『Traditionelle Medizin in Japan』(KIENER Munchen)

## 4. 第 24 回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

加藤公太, 坂井建雄「19 世紀における西洋美術解剖学の歴史

—日本の美術解剖学の前史として—」(日本医史学雑誌第 63 巻第 1 号掲載)

## 5. 関連医史学団体報告 (資料 A)

## 6. その他

○真柳常任理事より, 国外学会との交流について報告があった。

現在, 韓国, 中国の 3 学会と学術提携をしているが, 新たに台湾医学史学会との交流を検討している。  
この件は, 常任理事会にて引き続き検討する。

## II. 協議事項

### 第1号議案 平成29年度決算報告に関する件 (資料1-2)

○岡田靖雄<sup>おかたやすお</sup>先生より10,000円寄付されたことが報告された。

### 第2号議案 平成30年度事業計画案に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第64巻第2・3・4号, 第65巻第1号 発行	
第119回日本医史学会総会 会長 園田真也		鹿児島県医師会館 (鹿児島県)	2018年6月2日(土) ~3日(日)
第120回日本医史学会総会 会長 山内一信	(準備)	愛知県産業労働センター (愛知県)	2019年5月18日(土) ~19日(日)
第121回日本医史学会総会 会長 弦間昭彦 実行委員長 志村俊郎	(準備)	日本医科大学橋桜会館 (東京都文京区)	2020年5月30日(土) ~31日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 5, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同 鶴見大学	2018年9月
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同 順天堂大学	2018年12月15日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	2018年11月23日(金・祝)
医心方と京都の医学史展2018	特別 協力	護王会館護王神社	2018年11月1日(木) ~3日(土・祝)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	2018年9月16日(日)
第28回漢方治療研究会	後援	九州大学医学部百年講堂	2018年10月7日(日)
ひとよぎり全国大会 in 中津	後援	川島整形外科病院	2018年11月10日(土)

### 第3号議案 平成30年度予算案に関する件 (資料3)

### 第4号議案 日本医史学会総会・学術大会候補者の推薦について (資料4)

### 第5号議案 日本医史学会の財政状況について (資料5)

○学会財政が赤字傾向であることと、その考えられる原因として会員数の減少による収入減などが示された。解決策として、寄付を募る案と学会活動を広く紹介する案が示された。

寄付については外部の公益財団法人の協力を得て、寄付金控除を使えるようにすることも検討していることが説明された。

## III. その他

## 資料 1

貸借対照表  
平成30年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	65,284	
預金	4,158,348	
流動資産 合計	4,223,632	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,711,596	
矢数医史学賞基金	5,023,065	
富士川游学術奨励賞基金	1,567,273	
特定資産 合計	15,301,934	
(3) その他固定資産		
華岡碑	3,492,288	
その他固定資産 合計	3,492,288	
固定資産 合計	18,794,222	
資産 合計	23,017,854	
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金	2,880,000	
預り金	30,119	
流動負債 合計	2,910,119	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	2,910,119	
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	20,107,735	



## 資料2

## 正味財産増減計算書

自平成29年4月1日  
至平成30年3月31日

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	7,659,167	
② 助成金	0	
③ 寄付金	10,000	
経常収益計	7,669,167	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	4,607,925	
② 事業費	1,335,285	
③ 人件費	2,741,258	
④ 会議費等	75,265	
⑤ 旅費交通費	547,210	
⑥ 通信・運送費	190,181	
⑦ 事務費	51,788	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 医学会負担金	85,850	
⑩ 減価償却費	74,304	
⑪ 雑費	21,880	
経常費用計	9,880,946	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-2,211,779	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	163	
経常外収益計	163	
(2) 経常外費用		
① 名簿製作費	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	163	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-2,211,616	
一般正味財産 期首残高	22,319,351	
一般正味財産 期末残高	20,107,735	
II 正味財産期末残高	20,107,735	

定款第31条に従い、平成29年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

平成30年4月16日

監事 鈴木 夏 仁 

監事 鈴木 達彦 

## 資料3

## 平成30年度予算(案)

科 目	決 算	予 算	備 考
	自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 会費収入	7,659,167	8,000,000	
② 助成金	0	0	
③ 寄付金	10,000	1,350,000	
経常収益 計	7,669,167	9,350,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	4,607,925	4,200,000	
② 事業費	1,335,285	1,200,000	
③ 人件費	2,741,258	2,600,000	
④ 会議費等	75,265	60,000	
⑤ 旅費交通費	547,210	550,000	
⑥ 通信・運送費	190,181	150,000	
⑦ 事務費	51,788	30,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	85,850	90,000	
⑩ 減価償却費	74,304	74,304	
⑪ 雑費	21,880	20,000	
経常費用 計	9,880,946	9,124,304	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-2,211,779	225,696	
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	163	163	
経常外収益 計	163	163	
(2) 経常外費用			
① 名簿製作費	0	0	
経常外費用 計	0	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	163	163	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-2,211,616	225,859	
一般正味財産 期首残高	22,319,351	20,107,735	
一般正味財産 期末残高	20,107,735	20,333,594	
<b>II 正味財産期末残高</b>	20,107,735	20,333,594	

## 資料4

2018年6月吉日

日本医史学会理事・代議員各位

## 日本医史学会総会・学術大会候補者の推薦について

日本医史学会では毎年総会・学術大会を開催しておりますが、その会長候補者を理事・代議員の皆様からご推薦いただくようお願いいたします。自薦と他薦のどちらも可といたしますが、他薦の場合には候補者の承諾を得ていただくようお願いいたします。

なおご推薦いただいた候補者につきましては、常任理事会で検討し、その評価を尊重して理事長が決定することといたします。

なお、現在までに決定されている総会・学術大会は以下の通りです。

第119回日本医史学会総会 会長 園田真也

鹿児島県医師会館（鹿児島県）平成30年6月2日（土）～3日（日）

第120回日本医史学会総会 会長 山内一信

愛知県産業労働センター（愛知県）平成31年5月18日（土）～19日（日）

第121回日本医史学会総会 実行委員長 志村俊郎

日本医科大学橋桜会館（東京都文京区）平成32年5月30日（土）～31日（日）

第122回日本医史学会総会 会長 長野仁

未定（大阪府）

第123回日本医史学会総会 会長 土手健太郎

未定（愛媛県）

日本医史学会理事長 坂井建雄

## 資料5

2018年4月

日本医史学会理事各位

日本医史学会理事長 坂井建雄

## 日本医史学会の財政状況について

日本医史学会の財政の現状と今後の見通し・対策について以下にご報告をします。

## 1) 現状と見通し

現在の収支状況がこのまま続くと、学会財政は4～5年で危険な状態になりうる。

- ・昨年度の学会収支は221万円ほどの赤字，毎年200万円程度の赤字が続いている。
- ・現時点での学会の運転資金としては流動資産420万円と特定預金870万円の計1290万円。この他に矢数医史学賞基金500万円ほどと富士川游学術奨励賞基金150万円。

## 2) 赤字の原因

学会の財政赤字の原因には大きく2つのものがある。

- ・学会の会員数が毎年10～15人ほど，継続的に減少している（毎年10～15万円，10年間で100～150万円）。
- ・社会情勢の変化により収入が減少し支出が増加した。①雑誌刊行のための科研費が取得できない（年間100～170万円），②日本医学会からの補助がなくなり，逆に会費を払う（年間30万円ほど），③雑誌編集の外部委託（年間40万円ほど），④一般社団法人になったための経費の増加（年間60万円ほど）。

## 3) 今後の対策

根本的には会費収入を増やすことを目指し，一時的なものとして寄付収入を増やす。

- ・会員数を増やすために，①学会の活動（総会，雑誌，月例会）をactiveに，attractiveにする，②学会の魅力（現代医学，漢方医学，文化系など多様な人が集まる）を社会に発信する。
- ・寄付収入を増やすために，①会員に広く寄付のお願いをする，②外部の公益財団法人を利用して，寄付金控除を使えるようにする。
- ・年会費（現状1万円）の値上げはできる限り避けるが，今後値上げが必要となるときには負担をお願いしたい。

(資料A)

## 平成29年度 関連医史学団体報告

### 北海道医史学研究会 報告

北海道医史学研究会の平成29年度の活動はございません。  
平成30年度の活動再開に向けて、現在検討中となっております。

### 新潟支部 報告

今年度は支部としての例会、研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。新潟県柏崎市の会田恵 元評議員・功労会員が平成29年6月18日に逝去された。平成29年度(2017年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

#### 1) 学会・研究会などでの発表

- ①第118回日本医史学会総会(6月10～11日 京都市左京区・京都大学芝蘭会館)
- |  |      |
|--|------|
| 池田瑞仙と『唇舌帖』の考察                                | 西巻明彦 |
| わが国の医師免許制度の法制化について<br>—『吾園叢書』所収「医師営業規則草案」より— | 樋口輝雄 |
- ②第45回日本歯科医史学会総会(9月30日 東京都文京区・東京ガーデンパレス)
- |   |      |
|---|------|
| 徳富蘆花にみる郊外化の検討                                     | 西巻明彦 |
| 現代コミュニティ論でみる江戸時代後期の天然痘対策                          | 西巻明彦 |
| 『病草紙』の研究の現状について世界遺産と医療文化遺産に関する考察                  | 西巻明彦 |
| 股野玉川と医学思想について                                     | 西巻明彦 |
| ジョン・ウェスレー著 “primitive physic (1747年刊) に記載された歯痛治療法 | 樋口輝雄 |
| 日本でのフォシャールの紹介                                     | 樋口輝雄 |
- ③日本医史学会創立90周年例会(3月25日 東京都文京区・順天堂大学)
- |                |      |
|----------------|------|
| 日本歯科医史学会の歴史と現状 | 西巻明彦 |
|----------------|------|
- ④講演
- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| 明治の学医・桑田衡平(7月23日 埼玉県日高市・高麗神社) | 樋口輝雄 |
|-------------------------------|------|

#### 2) 著作ならびに論文等

- ①整形外科の歴史. 20世紀初期から中後期まで(235～246)
- |                     |      |
|---------------------|------|
| アメリカ整形外科の近代化(85～96) | 蒲原 宏 |
|---------------------|------|
- ※“整形外科の歴史”は『整形外科看護』22巻1号～12号(2017年1～12月)に連載
- ②ジョン・ハンター『歯の疾患の実際論』／ハンターの肖像画とサイン
- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 『日本歯科大学校友会・歯学会会報』42巻1号(表紙・裏表紙解説) | 佐藤利英 |
|----------------------------------|------|
- ③「医の博物館」(沖縄の小那覇全孝氏収録する). 沖縄県日本歯科大学校友会史.  
2017; 23-24.
- |  |      |
|--|------|
|  | 佐藤利英 |
|--|------|

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内  
電話 025-267-1500 FAX 025-267-1134 日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

## 北陸支部 活動報告

1. 会員数：38名（平成30年3月9日現在）

### 2. 活動報告：

(1) 第39回例会・総会：平成29年7月2日（日）

世話人：山本 博

会場：金沢大学サテライトプラザ

プログラム：

1) 特別講演：石黒傳六「福久屋石黒傳六商店～加賀金沢にて生まれた薬屋の末裔の独り言～」

2) 一般講演：

板垣英治「SluysによるDarwin進化論の紹介とMorseによる動物進化の講義の概要」

古林秀則「永井源吾三等軍医」

山本 健「施薬院全宗子息への加療を求める前田利家書状（七尾市本行寺藏）が書かれた年代について」

(2) 「北陸医史」第40号発行：平成30年3月10日（土）

(3) 幹事会・連絡会：平成30年3月11日（日）

会場：ホテル金沢北の庄屋

### 3. 連絡先：

〒920-8640 金沢市宝町13-1

金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学教室内

北陸医史学会事務局（篠原治道，新村祐子）

電話：076-265-2182

E-mail: n-yuko@med.kanazawa-u.ac.jp

## 神奈川地方会

神奈川県支部では、長年にわたり支部活動に貢献されました荒井保男先生から松田隆秀が会長を引き継いでいます。平成29年度は日本医史学会と合同開催させて頂いた秋季例会（第49回例会）と春季例会（第50回例会）を以下のように開催いたしましたので、報告させていただきます。お陰様でいずれの例会も50名前後の出席をいただき、盛会でありました。

### 第49回日本医史学会神奈川地方会秋季例会と日本医史学会9月例会の合同例会

（平成29年9月30日 於：鶴見大学会館）

開会の挨拶 松田隆秀

I 依頼講演 座長：勝井恵子

『医史学とマス・コミュニケーション』

演者：津田篤太郎先生（聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター）

II 企画講演① 座長：関根 透

『黒死病の本態 再々考』

演者：滝上 正先生

## III 企画講演② 座長：石上友章

『人類と感染症の歴史：天然痘を中心に一新興感染症の危険性は減ったのか』

演者：加藤茂孝先生（保健科学研究所）

## IV 特別講演 座長：松田隆秀

『西洋医学はなぜ19世紀から発展し現代医学となり得たのか』

演者：日本医史学会理事長 坂井建雄先生（順天堂大学 解剖学教室）

閉会の挨拶 関根 透

## 第50回日本医史学会神奈川地方会例会

(平成30年3月17日(土) 於：鶴見大学会館)

開会の挨拶 松田隆秀（日本医史学会神奈川地方会会長）

## I 推薦講演

## 1 座長：関根 透（鶴見大学客員教授）

『心臓カテーテル検査の道を拓いた Nobel Prize, Werner Forssmann』

演者：石上友章先生（横浜市立大学循環器内科准教授）

## 2 座長：鴨志田 義功（鴨志田歯科医院院長）

『中央アンデスにおける最古の暴力の儀礼—アンデス文明遺跡から出土した人骨の古病理学的研究—』

演者：長岡朋人先生（聖マリアンナ医科大学解剖学教室准教授）

## II 特別企画《歴史に残る医療を支えた女性》

## 1 座長：本館教子（聖マリアンナ医科大学病院看護部長 副院長）

『メアリー・E・リードと慈恵の初期看護教育を支えた女性たち』

演者：芳賀佐和子先生（東京慈恵会医科大学医学部看護学科客員教授）

## 2 座長：松田隆秀（聖マリアンナ医科大学総合診療内科）

『近代女性医師の誕生—その背景と経緯について』

演者：三崎裕子先生（元 北里大学一般教育部特別研究員）

## 3 座長：服部 智任（海老名総合病院 院長）

『野口英世初恋の女性 山内ヨネの生涯』

演者：殿崎正明先生（日本医科大学 医史学研究会）

閉会の挨拶 関根 透（日本医史学会神奈川地方会 副会長）

(日本医史学会神奈川支部会長 松田隆秀)

## 東海支部 報告

## 1. 下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』(第23集) 出版記念会

—洋学史学会12月例会共催—

平成29年12月3日(日) 午後1時~4時

(於 名古屋市東山植物園植物会館研修室)

## 【記念講演】

伊藤圭介の稿「草木の図」

杉村啓治氏

- 張斯桂と『万国公法』—伊藤圭介と清副公使・張斯桂との交流(1)— 幸田正孝氏  
 小石川植物園所蔵の『梅花正寫』と加来飛霞著『小石川植物園梅品』  
 及び関係資料について 邑田裕子氏  
 伊藤篤太郎宛書簡の紹介—伊藤圭介の葉書を中心に— 田中純子氏  
 浅井平一郎著『丹波修治先生傳』の紹介(三) 河村典久氏

(山内一信・高橋 昭)

## 関西支部 活動報告

### ▽日本医史学会関西支部 2017 年秋季大会(29 年度春季は開催なし)

平成 29 年 11 月 12 日(日) 於・大阪市立大学医学部学舎 4 階中講義室 共催: 京都医学史研究会  
 〈一般演題〉

1. ベルツの日記の登場人物(3)—東宮(大正天皇)の侍医としてのベルツ博士の活躍  
 山上勝久(大阪市立大学)
2. 姫路除痘館(種痘館)と播磨の種痘医たち 古西義磨(除痘館記念資料室)
3. シーボルトが自費出版した小冊子「薬品應手録」 飯塚修三(いづか眼科)
4. 杏雨書屋の植考書屋由来本について 吉川澄美(東京都)
5. 京都療病院創立に関する新資料 八木聖彌(京都府立医大)
6. 大阪帝國大学第 2 代総長楠本長三郎—ドイツ留学当時の事績—  
 榊原正義(藤田保健衛生大)
7. 良心の開業医ジェイムズ・パーキンソン—患者・患家への眼差し— 柳澤波香(東京都)
8. 薩摩医人列伝—来年度日本医史学会(鹿児島)の紹介を兼ねて 園田真也(枕崎市)
9. ジョン・スノーのポンプ 松岡尚則(研医会)
10. 「灯火概言」について 猪飼祥夫(北里大学医学史研)
11. 藤井見隆の息子玄芝による『病家心得草』(1780)の内容 平尾真智子(健康科学大学)
12. 青洲門下 16 代万代常閑の麻酔を使った手術について 木下 浩(岡山県中島医家資料館)
13. 『彌性園方函』に関する研究—第二報 三鬼丈知(大阪市立大学)
14. 心身について—『医心方』巻二を中心に 島山奈緒子(京都大学人文科学研)
15. 北里柴三郎記念室所蔵『今新流鍼法伝書』について 長野 仁(森ノ宮医療大学)
16. 『眼方秘方傳 他家之流』と名付けられた冊子について 安部郁子(研医会)

### 《紙上発表》

1. スウェーデンにおける就学前学校(幼児教育)に関する公報  
 ~外国人を含めたインクルーシブ教育の起点として~ 小野尚香(畿央大学)
2. 養生所・分析究理所等遺跡の保存運動(2) 相川忠臣(日赤長崎原爆病院)
3. 曲直瀬道三の妻—介石宗祐—のこと 葉山美知子(京都医学史研)
4. いわゆる『儒医』についての考察Ⅶ—趣味について 田中祐尾(大阪市立大学)

### 《特別講演》

『日本医・薬・博物著述年表の作成で分かったこと』  
 —書名・著者・成立年・所蔵元・画像の一括検索に向けて—  
 演者 真柳 誠(茨城大学名誉教授 日本医史学会常任理事)



- ▽支部機関誌『醫譚』105号 平成29年6月30日発行  
 支部機関誌『醫譚』106号 平成29年12月25日発行

上述機関誌の掲載目次は関西支部(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内  
 日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

## 京都医学史研究会 活動報告

- ▽第118回 日本医史学会総会・学術大会 平成29年6月10日, 11日 後援

会場 京都大学芝蘭会館  
 大会会長 武田 時昌 京都大学教授  
 実行委員長 葉山 美知子 京都医学史研究会  
 テーマ:「歴史を未来へ」—医学的伝統の創生をめざして

関連して

- 特別展示:5月29日~「医史学の京風景」京大時計台1F歴史展示室にて
- パネル展示:6月10日, 11日「京の医学史展」芝蘭会館にて
- オプションツアー:6月12日「医史学探訪」  
 大徳寺真珠庵(半井家墓詣)  
 真如堂(向井家墓詣)  
 京大富士川游文庫見学

## 講演

- ▽京都アスニーゴールデン・エイジ・アカデミー(京都大学人文科学研究所)

- 『医道の歩み, ワザの伝統』各回講師リレー講演  
 平成29年6月2日, 9日, 16日, 26日, 30日 (於)京都アスニー
- 『啓迪』DVD: 京都医学史研究会の学会誌DVDを贈呈(1号(1983)~30号(2012))からDVD  
 を作製.

一般演題

日本医史学会関西支部会2017年度学術集会2017.11.12 大阪市立大学  
 「曲直瀬道三の妻—一介石宗祐—のこと」 葉山美知子(京都医学史研)

## 講演会開催および後援

- ▽京都府医師会生涯学習・学術講演会・秋期, 第246回京都医学史研究会例会

平成29年9月7日(木) (於)京都府医師会館  
 演題:「東洋の医聖たち—肖像と伝説」  
 講師:小曾戸 洋先生 北里大学客員教授

- ▽京都府医師会生涯学習・学術講演会・春期, 第247回京都医学史研究会例会

平成30年3月22日(木) (於)京都府医師会館  
 演題:「ノーベル賞の業績はどのように医学の進歩・発展に貢献したか!」  
 講師:泉 孝英先生 京都大学名誉教授, 中央診療所院長

## ▽醫道顕彰会例大祭および講演会

平成29年10月9日 (於) 泉涌寺今熊野観音寺醫聖堂  
講師：自見庄三郎先生 元金融・郵政大臣, 医師

## ▽「医心方と京都に医学史」 協賛

会場：護王神社 護王会館  
会長：武田時昌 先生 京都大学教授

▽日本医史学会関西支部大会 協賛 平成29年11月12日 参加  
会場 大阪市立大学▽日本医史学会 関東支部合同大会 平成29年12月16日 参加  
会場 順天堂大学 次回119回鹿児島大会参加の呼びかけ

## ▽山協東洋墓詣と観臓記念碑献花 平成30年3月26日

○京都市中京区新京極三条下 誓願時  
○京都市中京区六角通大宮西入 盟親

## 会誌発行

▽京都医学史研究会誌『啓迪』32号発行 平成30年3月31日発行

## 広島医史学研究会 活動報告

## 広島医史学研究会・岡山医学史研究会 合同学術集会

日時 平成30年1月27日(土) 14時～  
場所 広島大学医学部基礎講義棟 第一講義室

## 1. 広島医史学研究会総会

## 2. 広島医史学研究会・岡山医学史研究会合同発表会

## 3. 開式の辞 大会長 日本赤十字社中四国ブロック血液センター相談役 土肥博雄

座長 広島国際大学 客員教授 千田武志

演題1. 戦間における米国の対日医療援助 京都大学 名誉教授 泉 孝英

演題2. 麻酔 今, むかし(二) …口対人口呼吸法の効果 門前歯科医院 門前弘美

演題3. 元岡山県知事・三木行治医師の公衆衛生(七) —三木行治と大渡順二の関係—  
倉敷仁風ホスピタル 高木寛治

座長 広島国際大学保健医療学部 隅田 寛

演題4. 「鞆(とも)の保命(ほうめい)酒」の漢方学的考証 広島国際大学 医療栄養学部 神田博史

演題5. 難波抱節と門人たちの麻酔を使った手術について  
岡山大学医学部客員研究員・中島醫家資料館主任研究員 木下 浩

演題6. 呉市と呉 黄石 呉市 森原和之

コーヒーブレイク (10分間)

## 4. 特別講演会

座長 日本赤十字社中四国ブロック血液センター相談役 土肥博雄

○「呉 秀三」その業績とひととなり

郷土史家 田辺良平

## 5. 閉式の辞 会長 広島大学医学部長 秀 道広

## 福岡地方会 活動報告

平成29年度福岡地方会は、下記の通り2度の研究発表会と1度のセミナーを開催いたしました。

## 第31回 福岡地方会

開催日時：平成29年8月26日 13:30～17:00

会 場：福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神4-8-15）

参加者数：33名（発表者を含む）

## 【発表者・演題】

赤司 友徳	戦後学生社会運動と福祉国家の形成
井口 潔	歴史を創るヒント「混沌から秩序は生れる」エントロピーの法則
木村 専太郎	永富独嘯庵
小林 晶	アンドレ・ジャビーの遭難
権藤 寿昭	「物の怪」とは～近代前の日本人（特に平安貴族の心の病理）
佐藤 裕	大河内和著「袖珍薬譜」について
鈴木 友和	藩立医育施設における附属施設設置状況
中山 茂春	久留米藩軍艦千歳丸（せんざいまる）と藩医中山元朴 —西郷隆盛の実弟西郷従道、長州藩桂太郎らと北越征討—
原 寛	日本で最初の翻訳解剖書
藤野 清次	「アインシュタインが訪れた九大三宅速（はやり）邸」
丸山 マサ美	第5代九州大学高山正雄総長の倫理思想 —中島力蔵博士倫理学講義ノートを中心に—
矢野 正子	米国・英国における看護教育の歴史
Yoe, In-Soku	九州帝大精神医学教室の朝鮮人留学生

## 第32回 福岡地方会

開催日時：平成30年2月10日 13:30～17:00

会 場：福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神4-8-15）

参加者数：16名（発表者を含む）

## 【発表者・演題】

井口 潔	心で生きる生物<人間>の生存の理法
ヴォルフガング・ミヒエル	有馬撰蔵の「牛痘新書」について
小林 晶	わが国におけるパラリンピック競技の父 中村 裕博士
権藤 寿昭	本草学者としての平賀源内の功績 ～～龍骨とは, (附)「本草綱目」より話題紹介
佐藤 裕	Billroth作曲のピアノ曲の紹介
鈴木 友和	近世藩立医育施設に見る近代化への階梯
原 寛	日本における西洋医学のはじまりと時代経過
藤野 清次	「アインシュタイン・エピソード(2) ——福岡訪問で再会したかった旧友榊先生——」
丸山マサ美	バイオエシックス教育・研究の課題と展望 —アメリカ国立公文書館史料“Kyudai Vivisection”再考—
木村専太郎	赤ひげ先生, 小川 笙船

## 特別セミナー 日本医史学会福岡地方会・九州大学医学歴史館共催

開催日時：平成29年10月14日 13:30～17:00

会 場：九州大学医学部百年講堂

## 西欧医学での医学教育・医療

我が国へ近代西欧医学が導入されて150年になる。最初はドイツ医学に範をとったが、第二次大戦後はアメリカ医学が怒濤のように入流した。その歴史的濫觴、経過を探り、経験上の反省、考察を基礎に今後の医学教育、医療の発展をはかるのが、われわれの課題であろう。

今回は西欧先進国での歴史および現地で学んだ経験を述べて参考に供したい。

## 演 題

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① ドイツ・アメリカ医学の特徴について   | 九州大学名誉教授 井口 潔         |
| ② アメリカ留学で学んだこと        | 福岡大学医学部整形外科主任教授 山本卓明  |
| ③ ドイツにおける病理学研究と医学教育   | 九州大学医学大学院教授 小田義直      |
| ④ 近世から現代へのフランス医学の流れ   | フランス整形災害外科学会名誉会員 小林 晶 |
| 《特別発言》1685年のオランダ医学免許証 | 原土井病院理事長 原 寛          |

## 雑 報

### 寄贈本リスト

#### 【単行本】

- 天理大学附属天理図書館『天理図書館 古典の至宝』2017  
 圭介文書研究会編伊東圭介日記第二十三集名古屋東山植物園2017  
 監修 イヴァン・ブローアール, 翻訳 日仏薬学会, 日本薬史学会『薬学の歴史 くすり 軟膏 毒物』  
 「薬事日報社」2017  
 中村江里『戦争とトラウマ』「吉川弘文館」2018  
 小石家文書研究会編『究理堂所蔵 京都小石家来簡集』「思文閣出版」2017  
 田代義徳博士顕彰会, 足利市田中町観光協会『田代義徳博士 人生意気に感ず』2014  
 東洋学園大学 東洋学園史料室『没後50年東洋学園創立者宇田尚一自彊不息の生涯一』2017  
 マシュー・スミス著 石坂好樹, 花島綾子, 村上晶郎訳『ハイパーアクティブ: ADHDの歴史はどう  
 動いたか』「星和書店」2017  
 吉元昭治『チャクラ・丹田・奇経八脈と禅』「医聖社」2018  
 武田科学振興財団 杏雨書屋『杏雨書屋所蔵 医家肖像集 二編』2018  
 『布野雲平(八雲井雲八)物語』「卜部忠治」2018  
 見城梯治『留学生は近代日本で何を学んだのか』「日本経済評論社」2018  
 石原あえか『日本のムラージュ—近代医学と模型技術皮膚病・キノコ・寄生虫』「青弓社」2018  
 ミヒェル・ヴォルフガング編『“中津市歴史民俗資料館 分館医家史料館叢書 XVII 原点対訳・パスター  
 ルド辞書”』「中津市教育委員会」2018  
 小形利彦『はたごまち文庫2』里之宮 湯殿山神社2018  
 森川潤『青木周蔵—渡独前の修學歷』「丸善出版」2018  
 津谷喜一郎, 長澤道行『医療にみる伝統と近代—生きている伝統医学』「明石書店」2018  
 青木歳幸, 大島明秀, W. ミヒェル『天然痘との闘い—九州の種痘—』「岩田書院」2018  
 吉村昭記念文学館『吉村昭記念文学館 常設展示図録』2018  
 新村拓『売薬と受診の社会史』「法政大学出版局」2018  
 東亜医学協会『第28回漢方治療研究会講演要旨集』2018

#### 【別 刷】

- 『姫路除痘館と播磨國の種痘医たち—除痘館組織の地方分苗所運営に関する一考察—(改訂増補版)』古  
 西義麿, 津山国寧「医譚」(復刊106)  
 『『緒方洪庵全集』第四巻を読む』古西義麿「適塾」(50)  
 『近世文藝と医学に関する総合的研究』吉丸雄哉  
 『大明流鍼灸の伝授者 杏琢周の来日の事実について』渡部良平, 梶谷光弘「古代文化研究」島根県古代  
 文化センター (26)

#### 【雑 誌】

- 『あいみっく』38(4), 39(1-3) 国際医学情報センター  
 『BIBLIA』(148-149) 天理図書館  
 『Chinese Journal of Medical History』47(3-6), 48(1) Chinese Medical Association

- 『Chinese Medical Journal』130(17-24), 131(1-16) Chinese Medical Association  
『だより(練馬区医師会)』(596-607) 練馬区医師会  
『北陸医史』(40) 北陸医史学同好会  
『醫譚』(通刊123-124)(復刊106-107) 日本医史学会関西支部  
『医道の日本』76(12), 77(1-10) 医道の日本社  
『いわちどり(小笠医師会誌)』(45) 小笠医師会  
『除痘館記念資料室だより』(11)(財)洪庵記念会. 除痘館記念資料室  
『漢方の臨床』64(10-12), 65(1-9) 東亜医学協会  
『啓廸』(32) 京都医学史研究会  
『神奈川県医学会雑誌』44(2), 45(1-2) 神奈川県医師会  
『明治薬科大学研究紀要』(47) 明治薬科大学  
『名古屋大学士学文書資料室紀要』(26) 名古屋大学大学文書資料室  
『日本医師会雑誌』146(8-12), 147(1-7) 日本医師会  
『日本獣医史学雑誌』(55) 日本獣医史学会  
『日本歯科医史学会誌』32(3-4) 日本歯科医史学会  
『鳴滝紀要』(28) シーボルト記念館  
『労働の科学』72(11-12), 73(1-10) 労働科学研究所  
『STETHOSCOPE』(227-229) 日本医学切手の会会報  
『斯文』(132) 斯文会  
『適塾』(50) 適塾記念会  
『洋学史研究』(35) 洋学史研究会